

SDGs (持続可能な開発目標) 達成に貢献する ESD-Jのビジョンとミッション

2019年6月の理事懇談会において、ESD-Jの今後の活動の方向性を話し合い、次のようにビジョン・ミッションを定めました。2030年に向けてESD-Jは、これらの方針に沿って活動を進めていきます。

ビジョン

- ESD-Jは、マルチステークホルダー型の市民組織として、持続可能な開発のために求められる原則、価値観、行動が、教育や学び、人づくり、地域づくりのあらゆる場において主流化していくことを目指す。
- ESD-Jは、ESDやESDを機動力としたSDGsの達成に貢献する。

ミッション① ネットワークの構築

マルチステークホルダー型ネットワーク組織の特性を生かしてESD-J会員に依拠しながら、多様な個人と組織をつなぐ。

ミッション② 政策提言

ESD-J会員や地域の声を拾い、ESD活動支援センターと協働し、ESDやESDを機動力としたSDGsに関する普及・啓発活動に取り組み、政策提言を行う。

ミッション③ ハブ機能

ESD活動支援センター(全国センター)の運営を通じて、また地方のESD活動支援センター等との連携により、ESD推進ネットワークの広域的なハブ機能を果たす。

ミッション⑤ 海外とのESD推進ネットワークの構築・強化

アジアNGOネットワーク (ANNE)をはじめとする海外とのESD推進ネットワークを構築・強化する。

ミッション④ 人材育成

各地のキーパーソンと連携・協働して、それぞれの地域に合ったESDコーディネーター研修等を広め、ESDやESDを機動力としたSDGs推進のための人材育成に貢献する。

ESD-J活動

提案・準備の期間 (2002年～2004年)

- 2002 ESD-J設立準備会発足
- 2003 ESD-J発足

国連持続可能な開発のための教育の10年 (DESD) (2005年～2014年)

- 2005-2012 ESD研修事業開発・実施
- 2006-2008 アジアESD推進事業 (AGEPP)
- 2006-2008 環境省のDESD促進事業 (14モデル)
- 2008 「ESDに係る14の政策提言」とりまとめ
- 2014 Asian NGO Network on ESD (ANNE) 発足

10年キャンペーンの最終年 (2014年)

- 2014 ESD世界の祭典
「地域と市民社会からのESD提言」
「ESDナショナルセンター」設立の提案

ポストDESD・SDGs (2015年～)

- 2016～文科省、環境省のイニシアチブで開設されたESD活動支援センターを、ESD-Jとユネスコアジア文化センターが共同で運営

沿革

国連の動き・国の政策

- 2002 ヨハネスブルグ・サミットで日本政府とNGOがDESDを提案
- 2002 国連総会にて採択
- 2005 関係省庁連絡会議を内閣に設置
- 2006 DESD国内実施計画決定
- 2008 ESD国連フォーラム開催
- 2009 UNESCOボン会議 (ESD中間評価)
- 2011 DESD国内実施計画見直し
- 2014 ESDに関するUNESCO世界会議 (岡山市,名古屋市) GAP on ESDの採択・開始
- 2015 国連SDGsの採択
- 2016 GAP国内実施計画決定

- 2016 ESD活動支援センター運営開始
- 2017 地方EPO(全国8箇所)がESD地方センターを受託し運営開始
- 2017 地域ESD拠点登録開始
- 2018～ ESD推進ネットワークの体制の整備



ESD-Jの仲間になりませんか？

会員を随時募集しています。ESD-Jの会員となって一緒に社会の変革を目指しましょう。
会員特典：ニュースレター、メーリングリストほか

- ✓ 賛助会員 (法人) (1口～) 50,000円
- ✓ 正会員 (個人 / 団体) 10,000円
- ✓ 準会員 (個人 / 団体) 3,000円

